

# 校内研修等における授業研究の活性化を図るために

## 指導的力量を備えた教員の養成を目指して

本年度から新たに「小学校・中学校授業実践指導者養成特別講座」を実施しています。経験豊かな教員が大量退職する時代を迎え、各校において指導的力量を備えた教員の養成が求められています。本講座では、自己の専門性を高めるだけでなく、校内研修等における指導助言や研修をコーディネートする力量の養成をねらいとしています。

## 「小学校・中学校授業実践指導者養成特別講座」シリーズ



### ◎ 小学校・中学校授業実践指導者養成特別講座/シリーズⅠ (6月9日)

#### 講義「やる気を引き出すコーチング」

コーチングとは、相手の可能性を引き出し、その人の自主的な前進をサポートするコミュニケーションスキルです。校内研修等の活性化においても活用が期待されます。この講座では、コーチングの基礎知識や「傾聴のスキル」「承認のスキル」「質問のスキル」の3つの基本スキルについて学びました。

#### 【受講者の声から】

○生徒、同僚を問わず、その人の可能性を引き出し、前進を促すコミュニケーションスキルについて講義から大変興味深く学ぶことができました。ぜひともこれからの教育実践に生かしたいと思いました。

#### 演習「授業評価（よい授業とは）」

よい授業とはどのような授業なのか、よい授業のために大切な要素についてブレインストーミングやKJ法を用いて学びました。グループで整理しまとめたことをポスターセッションで発表しました。また、その発表を踏まえて、講師の大学教授からの確かなアドバイスを受け、授業評価についてわかりやすくまとめていただきました。



#### 【受講者の声から】

○「よい授業」について、今日はじっくりと自分自身が考える機会になりました。明日からの授業で、自分自身に再度問いかけてみたいと思いました。  
○演習で活用したKJ法やポスターセッションの技法を、今度は自分の勤務校でも校内研修に取り入れて、ぜひ実施したいと思いました。

## 「校内研修等における授業研究の活性化」

国立教育政策研究所 初等中等教育研究部  
部長 工藤 文三 先生

校内研修の特色は、授業を日常的に観察したり、授業について協議したりすることができる点にあります。また、授業者以外の教師が児童生徒の特性等をよく知っていることも特色といえます。研修を通して、授業の課題を出し合い解決の方策を共有することによって、授業設計や工夫の視野が広がるのが期待されます。

また、現在求められているのは、指導力の要素や指導力が高まるとはどのようなことか、高い指導力とはどのような状態を指すのか等の指導力向上の視点や方法です。これらのことを明らかにし、自分の授業力向上に具体化していくのも、校内研修の場が適していると思われます。校内研修は、学校運営の改善、教育課程の編成、授業改善や学習の評価、教育課程の評価と改善等多様な機能を持っています。校内研修の目的を明確にし、計画的に進めることにより、各教師の授業力を高め、ひいては学校の教育力を高めることが求められています。

(※ 工藤先生にはシリーズⅤ (1月26日) で「カリキュラムマネジメント」の講義をお願いしています。)